

# ぞうえん山梨

豊かな緑で山梨の未来を創る！



平成 25 年度フォトコンテスト 最優秀賞

「桜並木に囲まれて」小尾 明 作品

## 目次

■ 会長あいさつ …………… 2 項	■ 各委員会報告 …………… 8 項
■ 街路樹フォトコンテスト …………… 3 項	■ 安全協議会 …………… 10 項
■ 特集(対談 山梨大教授北村眞一) …………… 4 項	■ 青年部の活動 …………… 11 項
■ 豪雪への対応 …………… 6 項	■ 会員名簿 …………… 12 項

## 会長あいさつ



(一社)山梨県造園建設業協会  
会長 石原 政人

会長に就任して2年目が過ぎようとしております。光陰矢のごとしを本当に実感している今日でございます。

会長就任時のあいさつに引用させて頂きました、稲盛京セラ会長の教え「よき事を思い」を実行して人生を磨くと、物事が好転して行く、全ての出来事はどんな事でも「試練」であると、強く心に刻んで日々努めてまいりました。

その矢先、昨年2月には未曾有の豪雪に遭遇し、ついに「試練」の時がまいりました。かつて経験したことのないほどの豪雪に県内各所で道路が寸断され、交通網が麻痺状態となりました。協会では県から除雪要請を受け、いち早く出動体制を整えて除雪作業に着手しました。協会員の皆様には2週間以上に渡り、地域の為に、無理を承知で除雪作業をお願いしてまいりました。無理なお願いを「し過ぎたか」と反省をしておりました所、各方面から多くの感謝の御言葉や手紙等を頂き、本当に「嬉しかった」の一言に尽きます。また、あの様な雪が降るかも知れないと考えますと非常に不安な気持ちになりますが、今回の経験を生かし、皆様が安心出来ます様に災害時に備え、緊急連絡網や災害出動体制を整備して、一般社団法人としての役割を果たしていきます。

協会がこれまで取り組んできました簡単緑化「まち・みどり」や「街路樹フォトコンテスト」「校庭の芝生化」事業は勿論、新たな挑戦として造園を目指す学生を対象に「造園デザインコンクール」を実施して、行政や教育機関との連携をこれまで以上に深めて行きます。そして全国都市緑化フェアの山梨への誘致活動を行い、協会として常になにが出来るのか考え一人では夢で終わることも沢山の協会員の皆様と一丸となって望めば実現出来ると思われ、これまで以上に力を合わせてまいる所存です。

前例にとらわれず失敗を恐れない勇気と情熱を持って「暮らしやすさ日本一」「美しい県土づくり」の実現に努めてまいりますので、皆様方のご協力をお願い致します。

## 協会の動き

## 平成26年度 第2回定時社員総会開催

平成26年5月28日、造園建設業会館において第2回定時社員総会が開催された。

総会には来賓として宮川のり子衆議院議員を始め、中谷真一、堀内詔子、中島克人3氏の議員秘書及び県都市計画課、加々美格示課長補佐が出席した。総会に先立ち、本年2月の豪雪に伴う除雪作業に対して、県道路管理課、三浦市郎課長より、協会の除雪活動に対するお礼と横内山梨県知事からの感謝状が石原会長に贈呈された。

総会では来賓として出席した衆議院議員宮川のり子氏及び県・加々美課長補佐から祝辞を頂き、引き続き、協会功労者として長田泰（石原グリーン建設）松永正幸（富士グリーンテック）松木雄次（アセラ技建）宮澤一三六（雲松園）の4氏が石原会長より表彰された。また須田総務委員長が議長を務め、平成25年度決算報告及び平成26年度事業計画などが全会一致で承認された。



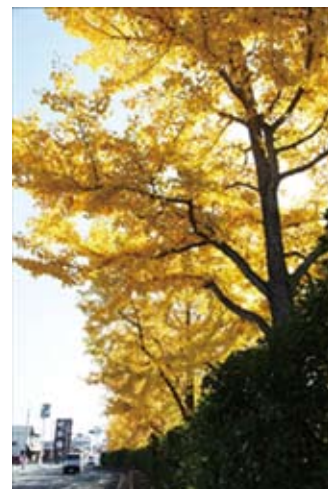
# 街路樹フォトコンテスト

Landscape  
YAMANASHI

街路樹は都市空間において良好な環境を形成すると共に、大気中の二酸化炭素の削減、都市温暖化の抑制など、環境保全にも大いに役立っている。こうした街路樹の果たしている役割に対して理解を深め、必要性を再認識して頂くことを目的に平成25年4月より平成26年4月15日までの1年間に撮影された街路樹を題材とした写真を募集する「やまなし街路樹フォトコンテスト」を実施した。応募された58作品について平成26年6月11日審査委員会を開催して、最優秀賞（知事賞）1点、優秀賞2点、入賞10点を選出した。



▲優秀賞「祭りの並木道」小池宏幸 作品



▲優秀賞「晩秋の輝き」石原宣子 作品

## ▼入選作品



やまなし街路樹

## フォトコンテスト作品募集中

見慣れた風景の中にある街路樹いつもと違う視線で観てみよう

詳細はwebで!

<http://www.zo-en.or.jp>


### 『街路樹が植えられている訳ってご存知ですか?』

普段何気なく見ている”街路樹”、  
ハナミズキなどが花を付けた時にだけ”……”と見る程度。  
モミジなどが紅葉した時にだけ”……”と見る程度。  
でも街路樹はもっとももっとたくさんの役割を果す為に、植えられています。  
一緒に考えてみてください。 街路樹を……



#### 「こんな役割があります」

1. ヒートアイランドを防ぐ。地球温暖化を防ぎ、二酸化炭素を酸素に交換します。
2. 直射日光の眩しさを和らげ、煩雑な景色を遮断し、ドライバーの視線を誘導します。
3. 雨や陽射しを遮り、快適な歩行を助け、防火帯として延焼を食止めます。
4. 樹木のルート機能で、地下に雨水を誘導します。
5. 車の騒音と建築物などへの反射音を吸収し、車の衝突をガードし、衝撃を和らげます。
6. 町並みを統一し、市街地の景観を快適にし、緑や花や紅葉が季節感を与え、自然の潤いと安らぎをもたらします。

※平成26年の豪雪では道路境界の目印となり除雪作業に大変役に立ちました。

# 北村教授との対談



## プロフィール

北村 眞一  
山梨大学生命環境学部  
地域社会システム学科教授(2013)  
山梨県景観審議会会長  
山梨県美しい県土づくり推進会議・委員

造園協会では北村教授と日頃より造園業界をめぐる諸問題について意見交換会を開催しており、今回、北村教授を囲み石原会長、堤理事、山口事務局長でこれらの課題について紙面对談を行いました。

石原会長：山梨県は山の緑は多いけれど、街の緑は少ないと言われています。

2013年6月に富士山が世界文化遺産に登録されてから、富士山周辺ばかりでなく山梨県に来県する観光客が増加しています。山梨を訪れた国内外の人々は富士山を始め南アルプス、八ヶ岳など山梨の豊かな自然景観に高い関心を寄せております。

しかし、甲府盆地で見えますと遠くの山々などでは豊かな緑を感じていますが、市街地や駅前などの我々が身近に暮らす場所では依然として緑が少なく、公園の整備とともに市街地の緑を増やして行く必要性を強く感じています。



## 「都市の緑は量から質へ」

北村教授：県都、甲府を例にとりますと、甲府市の緑の基本計画では、都市公園は現在40箇所が計画決定され、その内36箇所が開設されておりますので、市全体としての1人当たりの公園面積は約12.6㎡で国が示す標準である10㎡を満たしていることにはなっています。市街地では、公園の整備は進みつつあるのですが、公園の立地場所の偏りのために公園の緑はあまり十分とは思われません。

また都市全体に占める緑の割合、緑被率については、行政区域で75.6%、市街化区域で11.2%となっており、人が多く住んでいる市街化区域ほど、低い割合を示し、緑が少ない状況になっています。

市街化区域の緑被を種類別にみると、樹木・樹林地(2.3%)、農地(7.5%)、水辺(1.4%)であり農地が多い状況となっています。また公園に加えて街路樹や市街地の住宅の庭などの「緑化」はあまり進んでいないことが、緑が少ないといわれる理由と思われるます。

公園は、鎮守の森と同じように、樹木がのびのびと育てる余裕のある空間がとれて、まとまった森を形成できます。公園は、運動や遊びを通して身体の健康とコミュニティ意識を作る場であるとともに、大樹や樹林による癒しの場として重要なものです。

都市における緑の量(緑被率)の議論がありますが、一方で緑の質の議論も大切です。量が達成されたら質を上げるというのではなく、同時並行に量と質を高めていくような目標設定も必要と考えています。



堤理事：平成26年11月には日本造園学会・関東支部大会が山梨で開催され、多くの研究者や造園を専攻する学生が来県しました。

造園学会の方々が2日間、山梨県内を見て回りましたが市街地の緑として街路樹にも強い関心を持っていました。

## 「街路の樹木について」

北村教授：街路樹を見てもみますと、平和通りには6車線で十分な歩道の広さがある甲府駅南口から相生交差点まで山梨県のシンボルとなっている立派なケヤキ並木があります。新しくできた4車線のアルプス通りにも大きく繁ったケヤキなどの並木があります。山の手通りの敷島町あたりでは、変形ですが所々に歩道に余裕のある空間が設けられ、大きく育った樹木がみられます。

街路樹にとって必要なのは、地上部は枝葉が十分に

広げられる空間があることであり、地下部は根が十分に張れる植栽マスの大きさと質のよい土壌と水分や空気の供給が十分できることなどでしょう。都市に限らず道路では地下部の植栽マスや上部の空間が確保されていません。街路樹にとっては過酷な条件での生育となります。

潤いのある豊かな都市空間を創るには、水と緑が欠かせませんが、2車線程度の道路では歩道も植栽マスも十分に確保されていません。

## 北村教授との対談

Landscape  
YAMANASHI

街路樹の空間が十分ではないので、街路で線状に緑の確保ができて剪定を厳しくする必要があり、立派に育った樹木が「ずたずた」あるいは「ぼっくい」のようになってしまっているのが残念です。街路に線形の緑が難しいのが現状としますと、ポケットパークに余裕のあるスペースを設けて、そこで大樹を育てようという考え方に至ります。大樹は単独でシンボルとなり、人々にとって親しみと畏敬の念を抱かせる魅力があります。

そこで、かつて甲府市で杜構想を作った時に、街角に杜を創るために、ポケットスペースを利用して樹を育てることを提案し、実施されました。それで甲府市の所々に葉の繁った樹林が見られるようになりました。また、樹種の選び方も大事です。個人住宅の庭ではも

てあます、ケヤキ、エノキ、クスノキなどの大きく育つ樹は公共の空間で生き生きと育てることができます。それが都市生活に潤いをもたらしてくれます。

山口事務局長：山梨の景観を形作っている、「遠景」としての富士山、南アルプス、八ヶ岳など2千メートルを超える雄大な山々と、「近景」としての市街地の緑、そして、その中間にあります「中間景」としての市街地を取り巻く、少し低い山々、特に里山などの景観を育て守ることも重要だと思いますが。



## 「斜面の緑について」

北村教授：2014年に広島市で豪雨があり、斜面崩壊で多くの人々が亡くなりました。日本の地形は険しく、広島市で起きた異常な降雨のように100mm/時間、数日間連続して1000mmも雨が降れば、山の斜面はどこが崩れてもおかしくはありません。むしろ崩れなかったところは運が良かったと言ふべきかも知れません。

山梨では、甲府盆地を取り囲む里山一果樹園一集落という関係を維持して、山の斜面林や山麓の危険地帯を保全することが、借景の緑と都市の安全面から望まれます。

石原会長：造園協会では永年にわたり社会貢献活動として「きづかいの森」「校庭芝生化」「公園リニューアル」環境緑化としての「まち・みどり」事業など様々

緑地の保全の制度ができた時に、甲府盆地の斜面の開発状況を山梨県が調査したことがあります。土砂や石材の採取場跡地、ゴルフ場開発、住宅地開発などが見られました。近年は太陽光発電所などが造られています。

崩壊防止の保護工などをはじめ人工化した斜面の景観は醜いので、樹林などの自然的景観で修復することが望まれます。甲府盆地の特質である山に囲まれた市街地の景観は、里山の斜面林の存在がその価値を高めています。

な緑化事業を推進してきましたが、今回の対談とおして造園協会が目指すべき方向が見えてきたように思います、北村教授ありがとうございました。

## 簡単緑化「まち・みどり」

Landscape  
YAMANASHI

協会では日々の生活を営む日常空間に今まで以上に「みどり」を増やし、身近に「みどり」を感じることで、やすらぎと潤いのある生活空間を作り出すことが出来るを考え、簡単緑化「まち・みどり」事業を推進しています。これは街角や家先など身近な生活空間に簡単に緑を増やせる手法で立方体の緑化ウォールを利用して側面4面と上面の5面に植物を植えて緑化する方法です。これにより植木鉢やプランターと異なり、目で見るとき緑を感じる視緑比率が大きくなり、小さなスペースでも緑を多く感じることができます。

また、四季折々の植物を植えることで緑ばかりでなく身近に季節の変化を感じることでもできます。街路樹を植えるには十分な広さのない歩道やちょっとした緑が欲しい場所などにこの「まち・みどり」を設置することで大きな効果を発揮します。



# 平成26年度豪雪 協会の対応

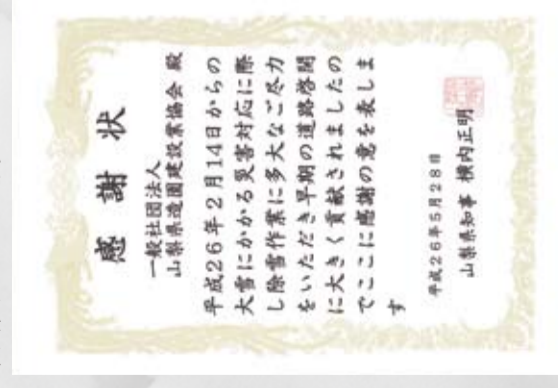
**対象箇所: 県道・市町村道・歩道・公園駐車場**  
**作業期間: 平成26年2月14日～28日**  
**作業人員: 延べ1,283人**  
**重機の数: 205台**

平成26年2月14日から15日にかけて山梨県では記録的な大雪となり、甲府市では14cm、河口湖でも143cmといずれも観測史上最大となる積雪を記録しました。県内の道路は各所で遮断され通行止めが相次ぎ、県の除雪要請を受け協会では、2週間に渡り延べ1,283人の作業員と資材205台を投入して主に歩道を中心に除雪作業を行いました。こうした行為に対して5月には横内山梨県知事より協会に感謝状が贈呈されました。

▼記録的な積雪、山梨日日新聞に掲載



▼山梨県知事より感謝状



## 表彰等

### 小林稔蔵氏 現代の名工 厚生労働大臣賞・受賞



小林稔蔵氏が平成26年11月に卓越した技能者「現代の名工」として厚生労働大臣から表彰された。小林氏は山梨県の造園業界の発展及び後進の指導育成に尽力され、自らも造園技能に卓越し、伝統的な庭園様式を踏襲しながら

も、科学的な新技術も導入した山梨県の風土・歴史に即した庭園づくりを行っている。

また北杜市武川村実相寺の山高神代桜(天然記念物)の樹勢回復に尽力し、往古の満開の桜を見られるまでに回復させるなど、樹木医として名木・古木の樹勢回復など樹木の管理技能にかけては業界の第一人者と言われている。

#### 「神代桜」

神代桜(じんだいざくら)は、山梨県北杜市武川町山高の実相寺境内にあるエドヒガンザクラの老木である。国指定の天然記念物であり、天然記念物としての名称は山高神代ザクラ(やまたかじんだいざくら)である[1]。樹齢は1800年とも2000年ともいわれる。

日本五大桜または三大巨桜の1つであり1922年(大正11年)10月12日に国

の天然記念物に、1990年6月に新日本名木百選に指定された。日本武尊が東征の際、この桜を植えたといわれる。鎌倉時代、日蓮がこの木の衰えているのを見て、祈ったところ蘇ったという伝説がある。同寺の境内には三大巨桜である三春滝桜(福島県三春町)、淡墨桜(岐阜県本巣市)から、それぞれの苗木が贈られ植樹されており、開花期には多くの見学者で賑わう。

### 松永正幸氏 優秀施工者 国土交通大臣賞・受賞



建設産業の第一線で「ものづくり」に従事している技能者で特に優れた技術・技能をもつ技術者(建設マスター)を国土交通大臣が表彰する制

度で平成26年10月10日に(株)富士グリーンテック工事に勤務している松永正幸氏が国土交通大臣より表彰された。

「建設マスター」は卓越した技能・技術を有した「ものづくり名人」と呼ばれている。

## 平成26年度 日本造園学会関東支部大会

山梨大会 公開シンポジウム 日時 平成26年11月9日(日)

テーマ: 景観の継承「世界文化遺産 富士山」はどのようにひきつがれるべきか

平成26年11月8日～9日の2日間に渡り、造園学会・関東支部大会が山梨大学を中心に開催された。基調講演では麻布大学千葉一輝教授が「世界“文化”遺産・富士山を景観から考える」を講演した後に公開シンポジウムが開催された。

シンポジウムのテーマは景観の継承「世界文化遺産 富士山」はどのようにひきつがれるべきかをテーマにパネルディスカッションが行われ、2013年に富士山が世界遺産の「文化遺産」となったことにより、多くの関心を集めることとなった一方登山道の整備やゴミ問題などの課題も顕在化していることを踏まえ、造園学会では関東支部大会の開催を機会に、文化遺産としての富士山の存在を再認識すると共に、政策、事業などの現況を共有することで、今後、市民・企業・行政それぞれの役まわり、そして連携を考える場とする決議が行われた。

メンバーはコーディネーターとして、石井信行(山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授) コメンテーターとして、池口 仁(山梨県富士山科学研究所 研究員) 市川 満(山梨県知事政策局理事 富士山保全推進担当) 藤原章雄(東京大学富士癒しの森研究所助教授) 箕浦一哉(山梨県立大学准教授) 堤 明伸(山梨県造園建設業協会 理事) 以上のメンバーにて、意見を頂いた。



最後に北村眞一(山梨大学 生命環境学部 教授) が総括を行い終了した。

# 『造園力』で都市再生

Landscape  
YAMANASHI

## 大手町の森



都心の真ん中に森が出現しその中にビルが建った感じ都会にいる事を忘れます

私達造園家は、自然を愛し  
文明との共存を目指しています

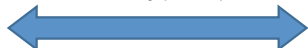


昼

### 川端緑道

夜

何気なく歩く歩道も昼と夜では趣が一変します



造園家が造る空間には細やかな演出が随所に見られます



夜を彩る美しいライトアップ…  
舗装の中から光が幻想的  
プロジェクター照明による  
演出もあります



歩道舗装には石系舗装と  
インターロッキング舗装の  
連続で構成されています



造園家が造るフェンスデザイン  
平面的でなくライトアップによる影を  
利用しています



手前の舗装は角繋ぎ(かくつなぎ)、その他、  
松葉(まつば)、市松(いちまつ)等、  
江戸小紋デザインが使用されています



緑化園芸機材・林業/農業機械・鳥獣害対策機器・刃物  
森林アウトドア用品・薪ストーブ・薪ボイラー・除雪機  
保冷库・木材加工機材・保安用品(スパイク付ブーツ等)  
高圧洗浄機・法定器具・キノコ菌類・食品乾燥機

地球への愛、人への優しさ。  
当社は優れた品質で社会に貢献します。

## 山梨スチール株式会社

〒400-0047 山梨県甲府市徳行4丁目13-5 <http://www.yamanashi-stihl.co.jp>  
TEL:055-226-3656 info@yamanashi-stihl.co.jp



## 株式会社 アセラ

自然と化学の調和を求め、  
技術アドバイスで農業をリードする。

〒400-0826 山梨県甲府市西高橋町156番地  
TEL 055-235-1968 FAX 055-232-2033



# 山梨県造園安全協議会



## 安全な街路樹管理をめざして

### 目的

より多くの視点から安全管理をみることにより、会員相互の安全意識の向上を図る。  
多年度にわたる街路樹管理計画をたて、その場所の環境に合った街路樹景観を創る。



▶ 県担当者と打合せ



▶ 年間工程・内容検討



▶ パトロール状況



▶ パトロール状況



- 【中北支部】平成15年度に発足、現在17社の協力により活動
- 【峡北支部】平成25年度に発足、6社の協力により活動
- 【峡南支部】平成25年に発足、5社の協力により活動
- 【峡東支部】H26年度発足予定、2社により活動予定
- 【富士東支部】H26年度発足予定、5社により活動予定

# 山梨県景観アドバイザー近況報告

山梨県景観アドバイザー 大塚 広 夫

昨年度より試行として始まった比較的大きな公共事業を対象にした公共事業景観検討が今年度も引き続き実施された。規模の大きな公共事業の構想段階から景観に関する配慮について話し合ったり、さらに材料の見え方、緑化や樹木を用いた景観づくりを早期の段階から提案や助言している。本年は2か所の会議に出席したが、工事費が大きいということもありともに急傾斜地の崩壊対策事業における景観についてであった。富士吉田の対象地では崩壊の危険がある範囲を伐採して法面工を新たにやり直す事業であった。対象地が市内全域からもよく見える場所にあり、担当職員、設計技術者との意見交換でも「景観、見え方」に対する熱心な姿勢を感じることができた。現地での検討時には、具体的な樹種のこと、残すべき個所や復元すべき植生など土木事業ではこれまであまり議論されななかつたような話題にまで話が及ぶ。景観や環境というキーワードがかなり浸透した結果であろう。

さて、山梨県ではいよいよリニア中央新幹線の着工が認可され、工事が本格化してくる。県民の一人としては東京との行き来が便利になることやたくさんの人々が山梨を訪れてくれることに期待している。一方、造園を専門とするものとしては、山梨が誇る自然景観や農村景観と同様に街中の景観をより美しく、よりエコロジカルにつくっていくことが求められる。山梨県

は甲府盆地に代表されるように、山から農村、都市部へと連続的に続く盆地地形であるが、山林や農村に比べて都市部の



▲ 現地での担当者からの説明

緑は少ない。また、植栽に用いる植物材料もできるだけ地域の植生をしっかりと把握したうえで設計していくことが求められる時代である。これを機に緑豊かなまちづくりとはどういうものなのか、これからどうあるべきなのか考えていかななくてはならない。甲府市に建設される新しい駅とその周辺の開発では、都市部から訪れる人々が「山梨の景色は素晴らしい」と感じてもらえるような配慮をしていってもらいたい。また、その時には我々造園業界も高い評価が得られるような技術と知識の蓄積を日々行っていく必要がある。緑が豊かな山梨だからこそのまちづくりを実践していき私たちの造園力を発信していくべきである。「人と自然がうまく共生できている」。リニア新駅の周辺にできるであろう広場は、こういう声が聞こえてくるような空間をつくらなければならない。

# 青年部の活動報告

Landscape  
YAMANASHI

## 青年部クリーンキャンペーン

実施日:平成26年9月26日

クリーンキャンペーン当日は、早朝7時に信玄公の銅像前に協会役員及び青年部総勢38名が集合して出陣式を行った後、場所を駅前に移し、街頭活動を行った。

8時半からは山梨県森林環境部の職員と協会青年部が甲府駅前広場周辺の歩道や植え込みに捨てられたゴミの回収や清掃(クリーンキャンペーン)活動を行った。



この青年部の活動は「緑あふれる街づくり」を目的に身近な環境をきれいで快適な環境に保って行く山梨クリーンキャンペーンに協力するかたちで平成19年から清掃活動を継続して来ており、今回で8回目の活動となります。

今回は協会青年部が準備した花の種「ポピー、矢車草、帝王貝細工」と造園フェスティバル2014の野菜とハーブの種を1000個用意して街頭活動を行った。

## 山梨県立農林高等学校・造園緑地科との交流授業 「造園を知る」

協会では造園業の楽しさや奥深さについて若い世代に直接伝えていきたく企画し、造園業界を志している学生に向け若手の技術者との交流の場と考えている。

今回、県内唯一の造園系学科を有する農林高校と協会及び青年部とで開催したが、新卒者のミスマッチングや早期離職を防ぐことになればと思う。

これまでもインターンシップ等、職場体験を通じて職業への理解を深める機会として実施してきた。しかし実際に高校生が造園会社へ出向き行っている職場体験では、身構えた体験となり本当の職業の魅力を感じ切れていないようである。そこで協会と青年部が高校へ出向き「造園の概要と領域」や「樹木の施工や管理事例」、「土木工事事例」、「巨樹の樹勢回事例」について写真を交えて解説した。

2時限にわたる授業にもかかわらず、熱心に説明を聞いてくれた学生の皆様に感謝したいと思う。

また企画に対して賛同して頂いた農林高校校長・山中先生、造園科の教員の皆様には非常に感謝しております。

造園工事業の魅力若き生徒に知ってもらい、今後も継続的に授業や技術講習の手伝いが出来たらと考えている。



▲農林高等学校造園緑地科との交流授業



▲平成26年11月14日 金曜日山梨日日新聞掲載

	竹材・木材・石材販売 <b>笠井造園資材 有限会社</b>	総合造園緑化資材、石材砂利、越後の刃物、卸販売
	〒409-3866 山梨県中巨摩郡昭和町西条2461-5 TEL:055-275-2842 FAX:055-275-5554	<b>有限会社造園資材センター</b> 〒400-0054 甲府市西下条町1346-1 TEL:055-220-2553 FAX:055-220-2554

# 会 員 名 簿

50 音順

会 社 名	代表者名	住 所	電話番号/FAX	E-mail/URL
株アセラ技建	埴原喜久男	甲府市蓬沢町 1171	(055)233-4617 (055)233-4633	giken@acera-jp.com
株石原グリーン建設	石原 政人	甲府市高室町 269	(055)241-2001 (055)241-0822	office@green21.co.jp http://www.green21.co.jp
株石和植木	齊藤 隆夫	笛吹市石和町川中島 378	(055)263-2070 (055)262-4889	isawa@mbd.nifty.com
有今井ガーデン	今井 正行	甲府市里吉一丁目 6-24	(055)237-0027 (055)226-8788	garden-imai.yugen@abelia.ocn.ne.jp
株雲松園	小林 稔蔵	北杜市小淵沢町 3630	(0551)36-2432 (0551)36-4128	info@unshouen.co.jp http://www.unshouen.co.jp
株帯金造園	帯金 岩夫	甲府市池田二丁目 11-12	(055)251-4128 (055)251-4194	office@obikane.co.jp http://www.obikane.co.jp
有荻野造園	荻野あさ子	甲府市伊勢四丁目 1-12	(055)235-4045 (055)231-2020	ogino@peach.ocn.ne.jp http://www4.ocn.ne.jp/~ogino
株河口湖庭園	梶原 陽一	南都留郡富士河口湖町船津 4940-1	(0555)72-0635 (0555)72-5435	yozan@kawaguchiko.ne.jp
有窪田造園	窪田 司	甲斐市中下条 1673	(055)277-2111 (055)277-8881	kubotazouen@za.wakwak.com
河野造園土木株	河野 嘉孝	甲府市下飯田二丁目 5-27	(055)222-4396 (055)222-0555	info@kzd.co.jp http://kzd.co.jp
甲南緑化株	岩田めぐみ	甲府市高室町 721	(055)241-6136 (055)241-6135	kounan@maple.ocn.ne.jp
株三枝造園	三枝 正雄	富士吉田市松山 1267-6	(0555)22-1174 (0555)22-2219	yamau.s-zouen@tbz.t-com.ne.jp
三協造園株	八木 幸彦	西八代郡市川三郷町市川大門 4796	(055)272-6000 (055)272-7777	sankyuzouen@beetle.ocn.ne.jp http://www.sankyo-ls.co.jp
有サンリツ造園土木	土屋 潤一	中央市若宮 31-11	(055)273-8644 (055)273-8633	sanritsu-2006@topaz.plala.or.jp
有敷島緑化土木	石水 通由	甲斐市島上条 1664	(055)277-2530 (055)277-8311	sryokkas@cronos.ocn.ne.jp http://www15.ocn.ne.jp/~sryokkas/
有清水造園	清水 文一	甲府市里吉一丁目 7-21	(055)233-9748 (055)233-9758	shimizu.z@sea.plala.or.jp
株芝 保	藤原 辰男	甲府市貢川本町 18-20	(055)237-7000 (055)224-5555	shib0377@peach.ocn.ne.jp http://www3.ocn.ne.jp/~shibaho
有志村樹苗園	志村 好啓	甲府市緑が丘一丁目 4-4	(055)253-6983 (055)253-6985	shimura.sdv4@rouge.plala.or.jp
有須田造園	須田 良英	笛吹市八代町米倉 729	(055)265-2452 (055)265-3691	suda@arion.ocn.ne.jp http://www.land-s.co.jp
中央造園土木株	今村 尚人	甲府市徳行一丁目 9-27	(055)226-4525 (055)226-4573	info@chuouzouen.co.jp http://www.chuouzouen.co.jp
辻緑化土木株	辻 宏三	甲府市朝氣三丁目 3-16	(055)233-9545 (055)233-9542	info@tsuji28.net http://tsuji28.net
株津々美造園	堤 明伸	甲府市愛宕町 146	(055)253-2188 (055)253-7835	tsutsumi@mx10.ttcn.ne.jp http://www.tsu2mi.com
有東香園	名取 満	南アルプス市十日市場 1828-1	(055)282-0970 (055)282-0952	tou-kou@eps4.comlink.ne.jp
株仲村造園	仲村 清輝	北杜市明野町小笠原 3838	(0551)25-2348 (0551)25-2439	naka-la1@aurora.ocn.ne.jp
野尻造園建設有	野尻 積道	韮崎市穂坂町宮久保 5122-2	(0551)22-0615 (0551)22-2531	h-nojiri@amber.plala.or.jp
富士観光開発株	志村 和也	南都留郡鳴沢村字富士山 8545-4	(055)273-5753 (055)273-4919	kensetsu@fujikanko.co.jp http://www.fuji-net.co.jp/
富士急建設株	梶原 実	富士吉田市新西原五丁目 2-1	(0555)22-7151 (0555)22-7153	fken@fujikyu-kensetsu.co.jp http://www.fujikyu-kensetsu.co.jp
株富士グリーンテック	齊藤 陽一	甲府市富竹三丁目 1-3	(055)236-1600 (055)224-5520	fujit@mx.mesh.ne.jp http://www.fujigreentech.jp/
株明桃園	小林 洋	南アルプス市桃園 968	(055)282-4128 (055)282-4190	meitoen@khaki.plala.or.jp
山梨ガーデン株	依田 忠	南巨摩郡富士川町最勝寺 1514	(0556)22-4181 (0556)22-2359	y.garden@cronos.ocn.ne.jp
有山宮造園	山宮 一哲	甲府市大里町 3608	(055)241-2256 (055)241-2078	yamamiya@kvj.biglobe.ne.jp
有吉井造園	吉井 公人	甲斐市西八幡 4044-6	(055)276-0470 (055)230-6322	yoshii-zouen@ag.wakwak.com